

令和 8 年

第 2 回（6 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	6 番 岡 村 達 馬 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 基幹産業である農業問題と振興対策について</p> <p>農業を取り巻く環境と経営は、近年の燃料高騰やそれに伴う農業資材の大幅な値上がりに苦慮してきた。今まさに農繁期を迎えようとする中、昨今の中東情勢緊迫化は、燃料や資材の供給リスクを高めるなど、先行は一層不透明さを増している。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 燃料高騰（軽油・重油・灯油）に併せ、マルチシートや包装材、肥料など幅広い資材が不足をしている。町として対応できることはなにか。</p> <p>(2) 稲作では1ha当たり約50～100リットルの軽油が必要とされている。高騰している燃料支援などはできないか。</p> <p>(3) ナフサ不足により、すでに肥料や出荷用のコメ袋の調達が困難な状況となっている。農家への支援と対策が必要と思われるがどうか。</p> <p>(4) 農業は本町の二大産業の一つである。今後強力な農業支援や振興を図るためにも農業所得等は町としても把握すべきだと思いがどうか。</p> <p>2. 地方制度調査会の報告と町の見解について</p> <p>「市町村事務の県移管議論 地方制度調査会が27年末答申」と新聞が大きく報じた。これは自治体の実情に応じたまちづくりと、持続可能な自治体の構築を全国で急ぐための動きである。この新たな動きは本町の今後のあり方にも大きな影響を与えるものと考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 人口減少が加速度的に進んでいる。このことは行政、産業や地域自治会の持続可能性についても危機的状況を生む。どう対策を進めていくのか。</p> <p>(2) 市町村は住民に最も身近な自治体として、行政サービスを提供する責務がある。今後税収や人口減少に伴い、単独での維持が困難な業務を広域でのサービスへ移行していくことが考えられるが、現在検討している課題や事業等はあるのか。</p> <p>(3) 記事にある「市町村事務の県移管検討」について具体的な話がなされているのか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	2	通告者	1番 前田博司 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>地域公共交通について</p> <p>私たちの生活に欠かせない移動手段の一つに公共交通がある。</p> <p>人口減少や運転手不足が深刻化する中、住民の移動手段をどのように確保していくのかは、全国の自治体に共通する大きな課題である。</p> <p>本町でも、地域公共交通会議や地域公共交通活性化協議会を設置し、「かわたな・はさみタウンバス」、そして「チョイソコのんなっせ号」の実証運行などに取り組んでいる。</p> <p>そこで、公共交通事業の現状や今後について次のことを問う。</p> <p>(1) 「かわたな・はさみタウンバス」や「チョイソコのんなっせ号」の実証運行の現状はどうか。</p> <p>(2) それぞれの事業が本格運行へ移行するのはいつごろか。</p> <p>(3) 佐世保・嬉野線の運行維持に向けた協議状況、広域交通としての役割など、町としてどのように捉えているか。</p> <p>(4) 広報、デジタル活用、乗継改善など具体的な利用促進や利便性向上への施策はあるのか。</p> <p>(5) 路線延伸やルート変更の可能性はあるのか。</p> <p>(6) タウンバスのキャッシュレス化はどう進むのか。また、乗り合いタクシーへの対応はどうか。</p> <p>(7) 運転手の確保・育成、車両管理、事故防止策など、町としての安全運行の取り組みや今後の方針はどうか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	3	通告者	10番 田添有喜 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 観光振興について</p> <p>観光振興は、観光を通じて地域経済の活性化や雇用の創出、文化の発信、ひいては地域社会の持続的な発展を目指す重要な取り組みである。</p> <p>本町の来町者も増加傾向で、各種イベントもにぎわいを取り戻し、県内外から注目される町となっている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 観光インフラの整備計画と課題は何か。</p> <p>(2) 波佐見レンタサイクルの利用推移と管理状況は、どうなっているのか。</p> <p>(3) 観光客の安全管理は十分か。特に、桜つつみの桜の木の点検並びに町道・県道の規制線や支障木への対応は十分か。</p> <p>2. 教育行政について</p> <p>教育は町づくりの根幹である。町は、教育課題の解決に対して多額の予算を投じて様々な取り組みを行われている。</p> <p>教育の不易と流行については、不易の部分が軽視され流行に振り回されているように感じる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 児童生徒の登下校時の安全対策は、どのように行われているのか。</p> <p>(2) 地域移行した部活動における「安全管理の徹底」や「保護者の負担軽減」はどうなっているのか。また、郡中体連の開催日が土曜日に変更となった経緯や理由は何か。</p> <p>(3) 義務教育学校への取り組みについて、どのように考えているのか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	4	通告者	4番 横山聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>部活動の地域移行について</p> <p>令和8年度より、部活動の運営組織が「波佐見中学校部活動振興会」から「波佐見町中学生スポーツ文化育成協議会」へと完全移行した。</p> <p>しかし、完全移行とうたいつつも、実態はまだ過渡期にある。本来の目的である「教職員の負担軽減」や「地域全体での育成体制」という点においては、依然として多くの課題が残されている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 部活動地域移行について、これまでの経緯と今後の計画は。</p> <p>(2) 教職員は地域クラブに携わらない選択も可能とされているが、実際には多くのクラブで従来どおり教職員がご尽力いただいているのが現状である。そこで、移行後おける指導体制の内訳として、「教職員のみ」、「教職員と地域指導者」、「地域指導者のみ」はそれぞれどうなったか。</p> <p>また、教職員を除き地域の指導者は何名か。</p> <p>(3) 協議会の設立趣旨には、町全体で中学生の活動を支えることとある。しかし現状は、ほとんどのクラブが波佐見中学校の生徒のみで構成され、小学校からの接続や他市町生徒との交流など、地域クラブとしての柔軟性が発揮されていない。</p> <p>一部のクラブでは先行して受け入れを行っているものの全町的な広がりを見せていない、その要因と課題をどう捉えているか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	5	通告者	8番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p style="text-align: center;">少子化・物価高騰下における学校教育の在り方について</p> <p>現在、本町の公共施設の多くを占める学校関連施設は、これから更新時期を随時迎えることとなるが、物価高騰や人件費高騰、金利上昇により、今後の公共施設整備には多大な費用が生じることが避けられないと考えられる。</p> <p>一方で、少子化の進展により子供の数は大きく減少し続けている。デジタル教育環境の進展も見据え、今後の町の教育環境の在り方を大きく見直すタイミングではないかとも考えられる。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 今後10年間の学校施設改修計画はどうか。またどの程度の費用を想定しているか。</p> <p>(2) 教育DXの進捗状況は。また、子供たちの安心に向けたソフト面の取り組みはどうか。</p> <p>(3) 長期的視野に立った「学校の在り方検討協議会」を保護者・有識者と共に立ち上げる考えは。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	6	通告者	5番 岡村 真由美 議員
質問事項及び旨	<p>1. 放課後児童クラブの新設について</p> <p>本町の放課後児童クラブ（通称「学童」）は、現在4か所で開設・運営されている。</p> <p>そのうち1か所が今年度末をもって閉所されることから、来年4月の開所に向けた新設が検討されている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 現在の「学童」4か所の利用者状況と今後の利用見通しはどうか。</p> <p>(2) 「学童」を新設する経緯と運営規模は。また、運営主体についてはどうか。</p> <p>(3) 新設する「学童」の場所などについて、問題点はないか。</p> <p>2. 農業後継者及び新規就農者への支援について</p> <p>コロナ禍を経験した若者の間で1次産業志向が高まっているという報道がある。農業従事者の高齢化や後継者不足の問題に直面し、本町では新規就農者への支援にも取り組まれている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 農業従事者数の推移、後継者がいない高齢農業者の数と割合はどうか。</p> <p>(2) 農家が将来的に廃業を余儀なくされる主な要因は何か。</p> <p>(3) 農業後継者の確保・育成に向け、これまでどのような支援策を行ってきたか。</p> <p>(4) 本町における新規就農者の数と推移は。また、現状と課題はどうか。</p> <p>(5) 中山間地域等直接支払交付金制度の目的と概要は。また、本町におけるその成果はどうか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	7	通告者	9番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p data-bbox="316 309 767 342">前川町長 1 期目の総括について</p> <p data-bbox="316 360 1129 394">前川町長は、本年 9 月に 1 期目の任期満了を迎えられる。</p> <p data-bbox="284 412 1452 551">この 4 年間、就任前の公約や所信表明で掲げられた施策の実現に向け、「波佐見町の勢い」を止めないことを目標に、「継承、変革、進化」を基本方針として、町政発展に向け様々な施策に取り組まれてきた。</p> <p data-bbox="316 568 679 602">そこで、次のことを問う。</p> <p data-bbox="331 674 1225 707">(1) 公約や所信表明の施策についてはどの程度達成できたか。</p> <p data-bbox="405 725 1126 759">また、その成果と自己評価はどのように考えるか。</p> <p data-bbox="331 777 1452 864">(2) 町政運営において、職員間の連携や人材育成についてどのように取り組んできたか。</p> <p data-bbox="331 882 1452 969">(3) 本町の今後の持続的な発展のため、人口減少対策や基幹産業の振興などの課題について、どのように考えているか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	8	通告者	2番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見温泉湯治楼裏の可動堰について</p> <p>河川内に設置されていた可動堰が破損したことから、堰の一部が撤去された。その影響から、堰より上流は以前に比べ水位が下がり、河床には石や砂の堆積が目立つようになった。このままでは、堆積した所に竹木が繁茂し、今後さらに川面が狭くなるという悪循環が生じ、多くの弊害が予想される。</p> <p>現在、可動堰の整備方針は提示されていないと聞くが、地元からは利水のため堰の復元を望む声が強い。復元により、次のような効果があると考え、河川管理者である長崎県と堰の早期復元について協議すべきと思うがどうか。</p> <p style="text-align: center;">*可動堰を復元し、一定の水量を維持することで得られる効果</p> <p>①竹木の繁茂の予防：一定の水量維持により、竹木の成育・繁茂が防止できる。</p> <p>②防火用水としての利用：周辺には民家が多く、宿泊施設や温泉、老人施設、商店等があり、大量の防火用水が確保できる。</p> <p>③生態系の維持：魚介類や水草等の、生育の場となる。</p> <p>④景観の向上：堤防は、桜づつみの一区間であり、散策者等にとって川面を眺望する楽しみができる。</p> <p>2. 波佐見町総合文化会館の改修について</p> <p>3月議会では、総合文化会館を大改修し再生を図るとの答弁があったが、4月の議会全員協議会では、一転して同事業を見直すとの説明に変わった。</p> <p>しかし、利便性の向上や施設の長寿命化のためには、最低限の補修が必要である。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 大規模改修を見直した要因はなにか。</p> <p>(2) 検討委員会での意見はどうだったのか。</p> <p>(3) 施設の利便性向上と長寿命化を効果的に実現するため、早急な改修を行う箇所や、計画的に改修していく所はどこか。</p> <p>(4) 長寿命化については、どのような計画となっているのか。</p> <p>(5) 総合文化会館の休館日は、日曜日や国民の祝日、年末年始にお盆の時期など規則で定めがある。しかし、これでは利用が制限されることから早急な見直しが必要と考えるがどうか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	9	通告者	3番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町プレミアム付き商品券について</p> <p>物価高騰に伴う、町民生活への影響や地元商店の経営悪化を懸念し、本町では商品券事業等による経済対策が実施されてきた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) これまでの商品券事業における効果はどうであったか。</p> <p>(2) 今回実施される事業での効果をどう見込んでいるか。</p> <p>(3) 今後、生活支援として新たな計画があるのか。</p> <p>2. 定住奨励金制度について</p> <p>人口減少対策には、本町への移住促進と若年層の定住促進が不可欠と考える。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 移住・定住促進の施策について、現在の進捗状況と今後の方向性をどのように考えているか。</p> <p>(2) 定住奨励金制度の拡充や見直しについてどう考えているか。</p> <p>3. 波佐見陶器まつりについて</p> <p>今年も波佐見陶器まつりがやきもの公園を中心に盛大に開催された。期間中は連日、町内外から多くの方にお越しいただき、約26万人の来場者で大きな賑わいを見せた。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 運営面における成果と課題はどういったものがあったか。</p> <p>(2) まつりを契機とした通年観光や産業振興への展開を、どのように考えているか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	10	通告者	11番 北村清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>災害対策について</p> <p>災害とは、「自然災害（天災）」と「人為災害（人災）」に分類される。</p> <p>災害は本町にとっても他人事ではなく、一年中身近に潜む脅威である。災害に備え、被害を最小限に食い止める「減災」の観点から、「自助」「共助」「公助」の3つの要素を連携させることが極めて重要となる。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 本町における避難所対策の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 車中泊避難所運営マニュアルや車中泊を行うスペースの確保、ペットの同行避難マニュアルの作成状況はどうか。</p> <p>(3) 林野火災への対応策として、消火剤導入を計画してはどうか。</p> <p>(4) 本町の上下水道において、基幹管路や幹線管渠の耐震化の進捗状況はどうか。</p> <p>(5) 消防団の補助として、本町独自の自衛消防隊を組織すべきと考えるがどうか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	1 1	通 告 者	7 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 交通指導員について</p> <p>季節ごとの交通安全週間をはじめ、イベント観光をすすめる本町にとって、欠かせないのが交通指導員の存在である。そこで、交通指導員と交通の安全について次のことを問う。</p> <p>(1) 道路交通法上の位置づけはどうか。</p> <p>(2) 交通指導員の現状と課題や対策はどうか。</p> <p>(3) 学校における交通安全指導との関係はどうか。</p> <p>2. 職員の定数確保に対する取り組みについて</p> <p>少子高齢化に伴い人口は減少しているが、多様化する住民ニーズに対応するための行政サービスは、質量ともに増加している。</p> <p>職員採用は毎年行っているが退職者も多いと聞く。職員の定数の確保は、行政サービスの根幹にかかわることから経緯を含め、次のことを問う。</p> <p>(1) 過去5年間の職員採用試験の回数と採用人数はどうか。</p> <p>(2) 過去5年間の退職者数と主な理由はどうか。</p> <p>(3) 過去5年間の採用と離職の状況に対する検証と、今後の対策はどうか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長